

校長室から

ふるさと（嵐）

作詞 小山 薫堂

作曲 Youth case

夕暮れ迫る空に 雲の汽車見つけた
なつかしい匂いの町に 帰りたくなる
ひたむきに時を重ね 想いをつむぐ人たち
一人一人の笑顔が いま 僕のそばに
巡り合いたい人がそこにいる
やさしさ広げて待っている

山も風も海の色も いちばん素直になれる場所
忘れられない歌がそこにある
手と手つないで口ずさむ
山も風も海の色も ここはふるさと

朝焼け色の空に またたく星ひとつ
小さな光が照らす 大いなる勇氣
何気ない日々の中に 明日の種を探せば
始まりの鐘が響く いま 君のために
雨降る日があるから虹が出る
苦しみぬくから強くなる

進む道も夢の地図も すべては心の中にある
助けあえる友との思い出を

いつまでも大切にしたい

進む道も夢の地図もそれはふるさと

僕のふるさと ここはふるさと



【あさなっちゃん】

ふるさとを思う気持ち



11月9日（日）、さくらぴあを会場にして、大竹市からの1校を含め20校、20名がそれぞれの学校を代表してVOICE2014が開催されました。本校から6年生の乾晶瑛くんが発表しました。題は「ふるさと浅原を思う時」として、堂々と発表しました。この度の発表課題から「地域」をテーマにして発表したのは、乾くんだけでした。発表を聴きながら、ふるさとに対する熱い思いを感じることができました。会場にいた人達

もきっと浅原という地域はそんなところなんだと感じてくれたことと思います。

そこで思い出したのは、歌手の嵐が歌う「ふるさと」です。NHK紅白歌合戦で歌われ、平成25年度のNHK音楽コンクールの課題曲としても選ばれた曲です。とてもメロディーがきれいです。しかも、歌詞の中に込められている様々なことばから、ふるさとのすばらしさ、大切さ、今後も自分の心の中に『ふるさと』を大切にしてほしいというメッセージを感じます。みなさんの心の中のふるさととはどんなところでしょうか。